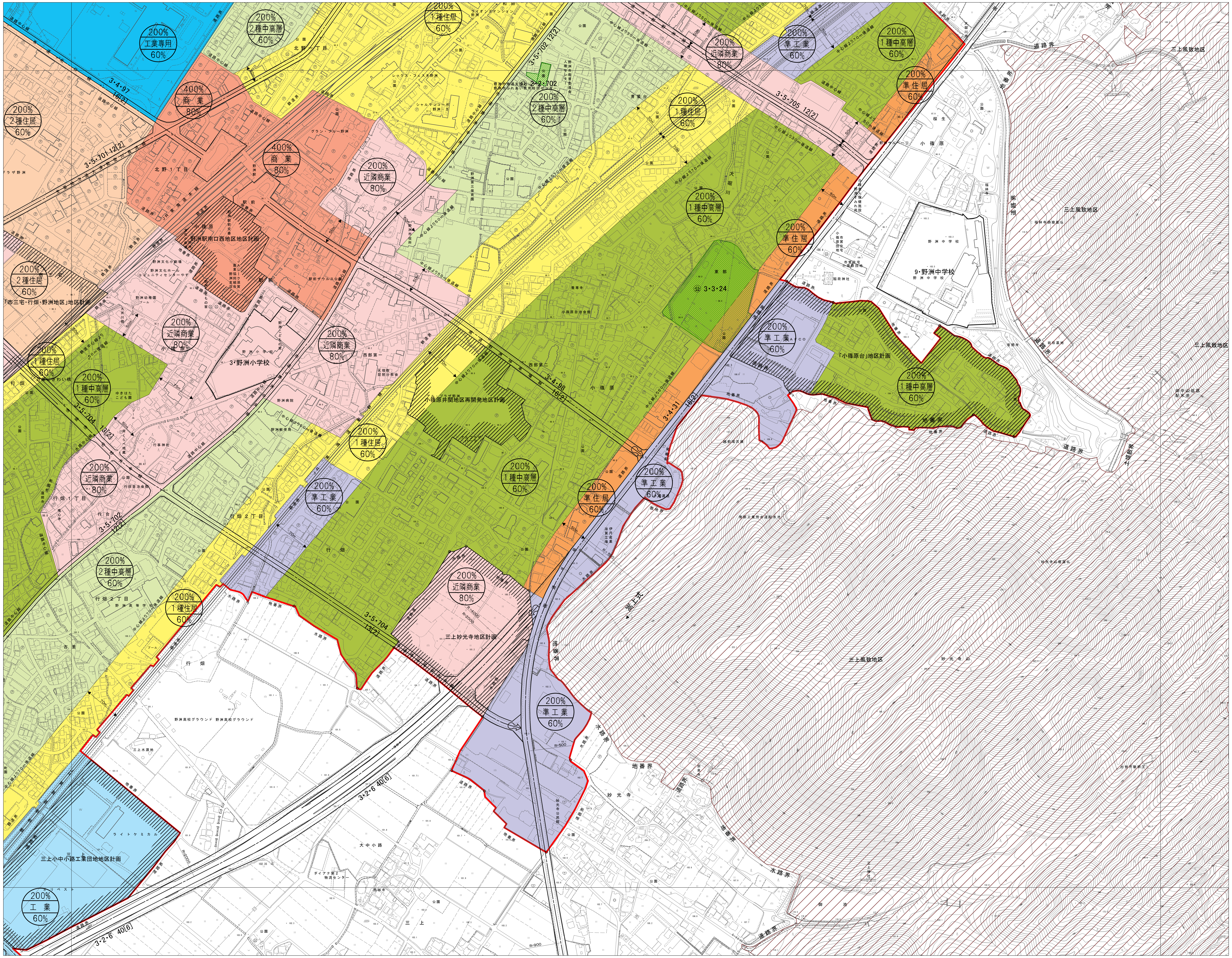
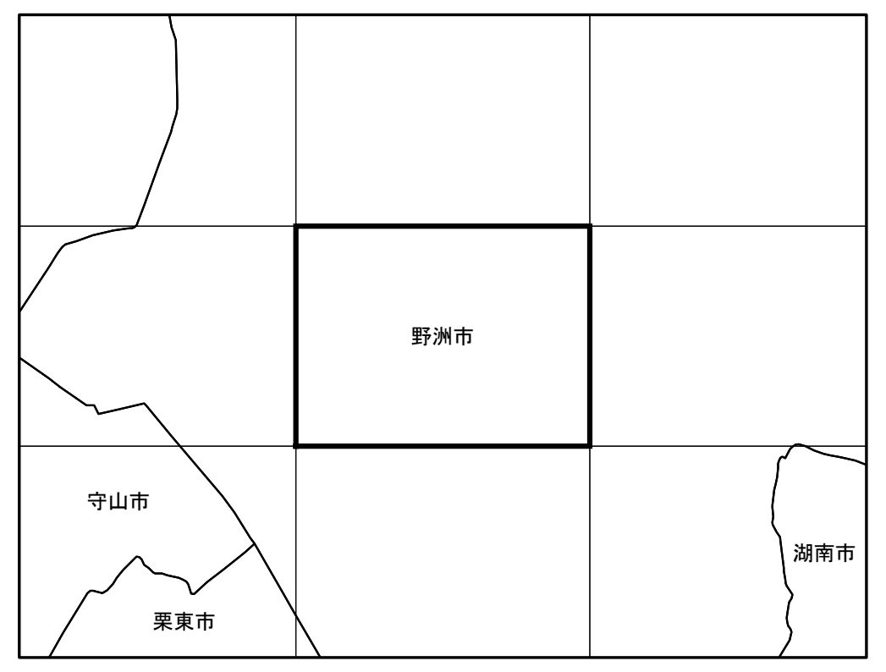
Ⅵ－NE40－4

野洲市都市計画図

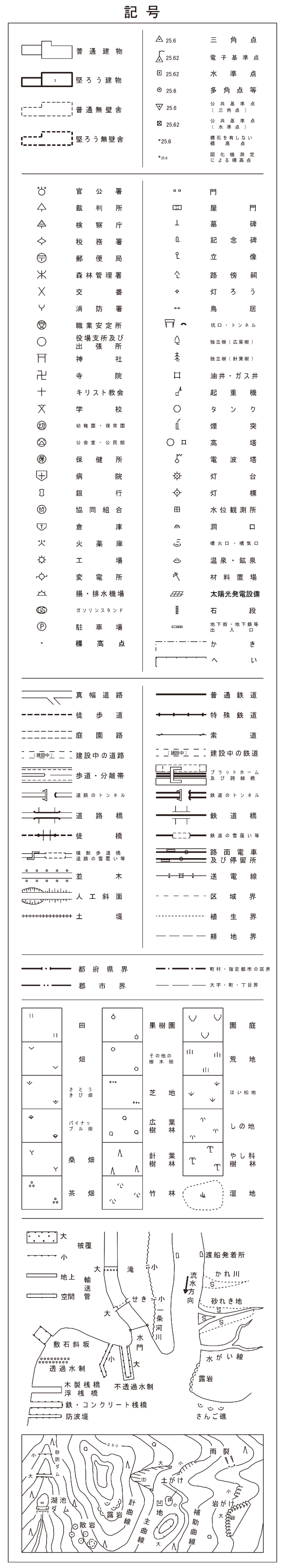
No.112


200%
工業専用
60%
200%
2種中高層
60%
200%
1種住居
60%
400%
商業
80%
200%
近隣商業
80%
200%
2種住居
60%
200%
1種中高層
60%
200%
準工業
60%
200%
準住居
60%
200%
工業
60%
3・5・701 12(2)
3・4・97 16(2)
3・5・702 12(2)
3・5・705 12(2)
3・4・98 16(2)
3・5・704 13(2)
3・4・31 16(2)
3・2・6 40(6)
3・3・24
2・2・702
野洲駅南口西地区地区計画
「市三宅・行畑・野洲地区」地区計画
3・野洲小学校
9・野洲中学校
小篠原井関地区再開発地区計画
「小篠原台」地区計画
三上妙光寺地区計画
三上小中小路工業団地地区計画
三上風致地区
北野1丁目
行畑1丁目
行畑2丁目
小篠原
妙光寺
三上
野洲高校グラウンド

40-1 No.099	40-2 No.100	41-1 No.101
40-3 No.111	40-4 No.112	41-3 No.113
50-1 No.123	50-2 No.124	51-1 No.125


野洲市
守山市
栗東市
湖南市

記号


砂防ダム
湖池ダム
露岩
散岩
計曲線
主曲線
凹地
土がけ
補助曲線
雨裂
岩がけ

座　標　系　第Ⅵ座標系
投　影　横メルカトル図法
座　標　値　キロメートル単位
方眼間隔　０．５キロメートル
高さの基準　東京湾の平均海面
等高線間隔　２メートル
平面直角座標値は、世界測地系に対応
方位とは、真北と方眼北との偏差及び方眼北との偏差をいい、方眼北、真北及び磁北の相互関係を示す角度は、下辺内図郭と図葉の中央における距離方眼線との交点を中心として、上辺外図郭上の３０′単位の目盛りに１０′単位で表示している。☆印は真北を、矢印は磁北を示し、０は方眼北を示す。
磁北方位は、国土地理院の磁気偏角図（２０２０．０年値）によるものである。

凡例

―‐‐―	市界			
▭	市街化区域界			
▭	用途地域界			
用途地域		容積率 建ぺい率	壁面後退	高さ
🟩	第一種低層住居専用地域	80/50	1.0m	10m
▨	第一種低層住居専用地域	100/60	—	10m
🟩	第一種中高層住居専用地域	200/60	—	—
🟩	第二種中高層住居専用地域	200/60	—	—
🟨	第一種住居地域	200/60	—	—
🟧	第二種住居地域	200/60	—	—
🟧	準住居地域	200/60	—	—
🟥	近隣商業地域	200/80	—	—
▨	近隣商業地域	300/80	—	—
🟥	商業地域	400/80	—	—
🟪	準工業地域	200/60	—	—
🟦	工業地域	200/60	—	—
🟦	工業専用地域	200/60	—	—
▨	風致地区			
⇨	都市計画道路			
▩	都市計画公園			
▨	都市計画緑地・墓園			
▭	その他都市計画施設			
▨	地区計画区域			

略号の説明

200% — 容積率%
第1種住居 — 用途地域の種類
60% — 建ぺい率%

Ⅵ－NE40－4

1:2,500

この測量成果は、国土地理院長の承認及び助言を得て同院所管の測量成果を使用して得たものである。
（承認番号）令５近公第２２０号

計画機関　野洲市
作業機関　日本工営都市空間株式会社